

(様式第3号)

令和3年度調査研究中間報告書

調査研究課題	「ゲノム高次構造解析を基盤とする新型コロナウイルスの病原性解明」に関する試験研究
計画期間	令和元年度～令和3年度 3年間
調査研究計画	茨城県発生動向調査事業で提出があり、新型コロナウイルス陽性となった検体（鼻咽頭拭い液、唾液、喀痰等）を対象とし、全ゲノム解析を実施する。得られたゲノムの変化から、当該ウイルスの感染性や病原性に与える影響を解明する。
進捗状況	<ul style="list-style-type: none">・当所において、新型コロナウイルスの全ゲノム解析に必要な機器および試薬を整備し、体制を整えた。・これまでに、新型コロナウイルス 1,242 株の全ゲノム解析を実施した。・これまでに、新型コロナウイルス 991 株の共同研究機関および公共データベースへの登録を行った。
これまでの成果の概要	<ul style="list-style-type: none">・得られた新型コロナウイルスのゲノム情報を共有し、その成果は学術誌で報告を行った。令和3年度に学会での口頭発表を予定している。・得られた情報は県関係機関へ情報提供を行った。
今後の計画・課題対応方法	<ul style="list-style-type: none">・引き続き、継続的に新型コロナウイルスのゲノム情報を取得し、系統の変遷とゲノム変異が病原性や感染性に与える影響について解明する。

中間評価結果報告書

令和 3 年 10 月 29 日

調査研究課題	ゲノム高次構造解析を基盤とする新型コロナウイルスの病原性解明に関する試験研究		
評価項目	評価	意見	備考
①必要性	5, 5, 5, 5, 5, 5, 5 平均評価点 5.0	<ul style="list-style-type: none"> 変異株の病原性解析などに極めて重要な研究テーマである。 県内検体の全ゲノム解析情報を研究機関と共有してデータベースに登録することは、社会や行政のニーズを満たす。 	
②進捗状況	5, 5, 5, 5, 5, 5, 5 平均評価点 5.0	<ul style="list-style-type: none"> 試験体制の準備が終了し、解析が実施されている。計画に沿って進行している。 	
③計画の妥当性	5, 5, 5, 5, 4, 4, 3 平均評価点 4.4	<ul style="list-style-type: none"> 妥当と考えられる。 	
④目標の達成及び活用可能性	5, 5, 5, 5, 5, 4, 3 平均評価点 4.6	<ul style="list-style-type: none"> ゲノム変化と感染性・病原性の関連の解明により、予防・治療への成果の有効活用が期待される。 	
⑤総合評価	5, 5, 5, 5, 5, 4, 4 平均評価点 4.7	<ul style="list-style-type: none"> クラスター事例の全ゲノム解析は、保健所の感染対策を進める上でも大変貴重な情報となる。 この時期にしっかりとゲノム解析の手法を確立してほしい。 今必要なテーマであり、茨城県のデータとしてのみならず、国内への情報提供にもつながっており、今後が期待される。 県として重要性がある。他県ともデータを共有することの有用性を期待する。 ゲノムネットワークの構築を行い、変異株感染経路解析を追加すべきである。 研究のゴールをどのように定めるのか、更なる議論が必要と考える。 	
⑥継続実施の評価 A：実施相当	A：7人 B：		

B：計画を見直し 実施相当 C：実施不可相当	C：				
	<table border="1"> <tr> <td>最終評価</td> <td rowspan="2"> 評価の理由や助言等 (評価「B」の場合は見直しを要する事項) </td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C </td> </tr> </table>			最終評価	評価の理由や助言等 (評価「B」の場合は見直しを要する事項)
最終評価	評価の理由や助言等 (評価「B」の場合は見直しを要する事項)				
<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C					

評価点 1：不良 2：やや不良 3：普通 4：やや良好 5：良好